

李江圖畫

# 名區小景二編

李江圖畫

愛知縣有物品

名區小景二編



于俊志。亥。杭日記。亥。越志。六。蜀記。  
出蜀記。山水之爭。竟。二。越。觀。之。  
壯大者。如。生。帖。所。編。名。區。之。後。  
存。十。一。於。千。百。六。可。以。慰。心。  
畫。之。田。禾。粟。作。序。之。七。  
春江米告。以。稿。之。從。朱。時。告。

疫方劇。喜江辞帰。未淑結  
曰。思。坐。之。之。之。仍。賴。必。居。  
以。之。責。

素永改元 難言

小林翁



衲齋宏書



名區小景序

山鷄れ尾張素國耳名高き區々は良ぬ  
き〜記の杜母志旨文をり理を孔鏡  
少都〜足致如〜伊き〜多於國々春仁  
ぬ〜の物〜〜名區小景〜時序  
冊子あり一多能出良き及八れ郡共海川



けいし書物つたて

嘉永元年申夏

にち國一之宮 賀田秀蔭



翰齋吳仙書

A294  
13  
1-2-1

昭和

名區小景二錦卷之上

柳原の霞

楊柳原頭望層々、姑射城欲知、奇絶、慶魚尾瑞霞明  
朝日さし透櫺の、一より五とちて、霞よなひく、柳原うな  
ゆききし、ぬ柳の赤も、ちりく、くすむ、みさう、ふたれ、ひれつ  
ま、夜ふらふ、しる、柳原、け、こ、こ、る、え、り、く、那  
柳原やうまの、いの、霞、み、く、夜、ま、の、ひ、ち、を、ひ、ら、ん  
り、け、う、の、り、え、て、や、け、く、い、ん、か、く、柳、う、赤、か、を、り、り、わ、ら  
い、う、の、名、の、ゆ、き、く、柳、原、こ、と、ん、ふ、み、す、む、の、う、ら、く、れ、か  
か、う、う、け、こ、と、り、代、原、の、柳、原、か、を、こ、く、く、の、ふ、く、ぬ、り、も、か、

誰堂 嘉寛 陸子 義成 意然 典達 森房 千春





稻生波



栗栖棧



和歌山

栗栖の棧

水とて流るるがたは湯門の流れてはるをすめくは代へん  
こゝれ梓下はくあはれおれし流せの門よあまき水を  
あさゆれは代へはるを里まはていのかさうふわよあま  
あくあまあれてはる上の流せせとまもまもあまを  
流しき水の流つてまふいりせつられて登峯をまま

うき鴨やまきさどくけくうひア  
船乃と鳴くさ白うり 並ふ 鴨

惟賢 荷菴 重宜 清章 俊・節 友雅 半嶺

又あられいもやそのさうりあせいれりさうゆく山登りて  
事とけりあけらるるの杉枝やかさこせまうなり  
さつさつむ栗栖のうけくハ出ていぬしもあやうけでもさ

和雅 良水 笠地左



角カ石くちんてか〜月のち

横井山 万場川の東岸  
横井村より

江邊横井里連綴有林 正東望青山秀西臨碧水流

汀沙人跡絶松樹鳥聲 風景盡詞客何如此地遊

横井山松の下風さゆ茶ハ万場川あよふちちくちり

程く〜と終く〜ち〜を横井山ちち〜まりてき〜松陰

ち〜て〜横井の山よちて〜ね〜下り〜る〜まの子藤

門はのびるもねようつ〜横井のふれ秋の夜の月

横井山松吹風よまきわ〜ハ門ちよひ〜く郭ち〜る

浪崎よらハ涼ふ〜〜ち〜の月

中置

為水

李廣

敬一

行遠

在宜

顯竟

李噴

五條橋雪

三五五

世所寒月



横井山





水廻欄千月光清五條橋頭画不成疑是水涯江上  
雪連舟如巷寂寞情

康保

白砂の雪江本の石にわのく、け旅のこころはさうらり  
昔とあて夕紅のくぬか梅梅はのく白さく旅のうけ

良武

粉とちりて又吹らふやいー乃雪 有香

夕雪てあまありりり町雪 阿頼

そくくく口もりのりり雪丸け 月濟

ねい合しやま小浪りり梅のあき 其雄

旅ふれとくのほそや梅の雪 卓堂

上感ハ雪のまじりや雪ヶ情 照鳥

何人の通りー政や梅乃ゆき 兵樂

福嚴寺 春・井那  
大津村より

粉壁朱樓登翠閣 香風滿地隔塵寰 疎鐘清磬音初  
斷 別有松聲盡日聞

百信

みくしーとユナヤともの云をそ  
やとみけくささくへりもまよはりむすのやれ松のへちりハ  
かくとふれとてうとふさのふけひのみふそりく月影

晨業

師正

白粥よわり つく寺のふくれ

籟一

郭 ス ふくや一吹りまゝ 藪

雲海坊

栗本入唐塚 栗本郡  
川口村より

こられたもむらりうせひ名よぼくも栗本のけりやつきとれ  
是中のやうを捨て名はゆれも今ハ多とく人にもう  
本塚つ名ハハ里のけれゆけけいりゆぬ人唐の塚

重伴

京井軒

圓什

大池の紙鳶

ふくせあし人唐塚のさひさふわりをともく寺にけ後  
傳は福む中を系いぬ 蕨、りれ  
人丸一 又をくも々れ 秋の月

栗塚

崔叟

春草

春服已成 三月天香菰摘 夕陽前池邊 児女如蟻

九春

陳占 断東風 弄紙鳶

蘭泉

文井 較遊絲 太超然

秀樹

ささひあらしの敷さくち池ハ左りきゆしちのゆる  
きゆきや大池とふわこりけいていさうり久風とまほ  
そさひあらしの敷さくち池のこまよらふもたふあふしと

利菘

清茂



宝川



清須花火



寶川

偶携兒女試閑遊麥浪脩、四月秋舊雨煙吹新雨

標齋

去南村水接北村流林歌無曲昇平樂管並成群午

影休初暑生衣微覺稜半途借得柳陰舟

萬開吐吞水作湖颯波渺、浴輕鳧古來何事呼為

寶陽

寶因此村、温潤無

水湾斜照碧油、荻渚蓼汀翠月秋柳外歸漁鷗世

全

界鱸聲伊軋遡寒流

君代の交りもよみて宝川流色の未だ底も中け

實惠

清須花火

川波のきよしよそり月影をうけけふふらぶ花火

道直

清波の里武田某のそとに上り火をよ  
しりとなしりかきてよま

予の物なりはけりふわしそわてなうぬかをとりよま  
水はぬきういおぬきそそ天はそり花火へり  
揚げつゝ天は少女れうつうとそそ火のむ折れ  
んそもとらくそそんかのぬきうつゝ花火のむ折れ  
清波川はれよういそそそりてゆきわけたそ  
名よそはもつりういれ月のそそそ火の花そそ  
きよ川きそそそそそりう花火のひりう初らん  
月 落て あそふ 月もつ 花そそ  
あうそそひたすりては花ね 花火そ  
四 五 本は 兄ふうそそそれ火うそ

季廣 貞足 良承 正明 利恭 文貞 利増 其雄 一溪 柯笛

四十五

春 敲門 初日 樂田 官  
赤内門

春 敲門 初日 樂田 官  
赤内門  
け海のそりもそひてま風れはく鹿よ朝日思り  
そのかそとたきそそりも睡そそそ主門の朝りそり  
けそね花そそそそそそそそそそそそそそそそ  
万代もかりぬきのいそそそひりわきそそそ代のそ  
我 花そそそそそそそそそそそそそそそそ  
朝 上り 小笠のそそそそそそそそそそそそ  
柏子の鳴るそそそそそそそそそそそそ  
けそそそそそそそそそそそそそそそそ  
それそそそそそそそそそそそそそそそそ

朝青 綱煥 景博 長久 徳瑞 秋潮 静嘉 松月庵 其雄 卓堂

宮田堤

浮きて峰波虫のききし津のき田のきしゆん

吹れてハ月子死つく柳うふ

るの 波をくすきて松尾を

暖きくうめや悦と風をさひ

東浦 其雄 静喜 鳥朝

そのうきとけは比玉本宮川内津奉修の宮舎りくしに  
今ハ名のみくうて松しうりねまにま物  
愛してはとあふぬし市人の泪むれしうめ

水乃の中亦隔つや小松 碇

船のよきくさけハ果外一雪止山

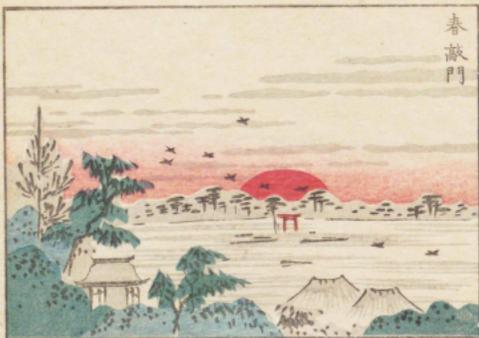
三輪堂 三輪合

早尾渡

山鐘 敲止月猶残 輕泛孤舟 渡急灘 這裡 回頭 賞詩

實忠

春敵門



宮田堤



早尾渡



八事山

思満身霜氣曉風寒

いふのこゝろけふ尾のワケもまふれ浮きて沖ぬれぬふ  
 けし梶のこゝろをこのまゝより芳とありてまゝのりぬきまゝに人  
 足区せハ足とけけけぬ鴨の群  
 芳もれてあよりまゝ竹  
 赤て水ねや早尾のまゝ内白  
 裁周  
 南景  
 茂東  
 其雄  
 雷二

八事山

暖風晴日舊禪扉一縷香烟出竹飛紅藥洞龕僧入  
 定花光照着福田衣  
 坦道

寺門滿深晝陰、八事山中紆宇深塔影僧歸盤石  
 徑鐘聲鳥起茂松林禪床澗點甘臥坐方丈幽談協  
 君政

素心閑説香曹開馬谷南溟萬里此登臨

雪かーむ雪のまつれや早月花  
西階やうすこ交りく山の石  
森内分やおし解雪の一あし  
維子呼やとちこれ谷も新烟  
於ひ集て寺より一粒の秋の雨  
経き一りの節のりる落葉水  
咄うゝひ屋上よ麻のさきくか  
度 庄のま中吹雪よ落葉くれ  
お 筆くよ竹やハ事のりくきけ  
采り雪ハ四方よ消てハ事ー山

茂東 桃李 愚文 梅樹 鳥朝 藍川 秋湖 吳樂 達南 一松

白鳥の依

千辛萬苦出蘇山巖嶽峙嶮江海灣無限世間華屋  
者詎知風雪獵潺湲

岨峽良材天下傳牛山之美豈齊肩下河絶海無量

快日夜追潮至堀川

快川にたのぬれとててもまろ小本岩の山けゆるととー  
海雪といふふつてを雪によし小本岩の根本ありかり  
さうゆとてりふさー入從士ハけを雪の巻ふさきしん  
もとハわれしゆーゆをれれりちこい花のあけり  
小昔種あしゆき谷より流れて来てこふも山とちれ根本  
本岩小橋ゆーしちゆといふ小本せてかうゆを

有園 千春 直通 延女 久尾 長彦

風文

蘭春



白鳥河舟



深川神社

深川神社 所ノ村

深川鎮護幾千羊古木蕭穆執通天羅肆衆山如虎  
豹風輕密ア一傳烟

けろままのむくのうきひはむれ汁のうりあて

沙洲まのうりあてつその人とまらみと深川の林

我らゆ節や引らんわんさうひうきの内にいんらん

賽汐もそー 名素の一茂又

石埋のうへてうーうん塔拾が

吉折と足つ 掉まの 袋 亀水

宮階や袋のうへう わうの 萬満

水のうへ 柱皮泊り 小春う菊 圖南

清友

正廣

啓

守置

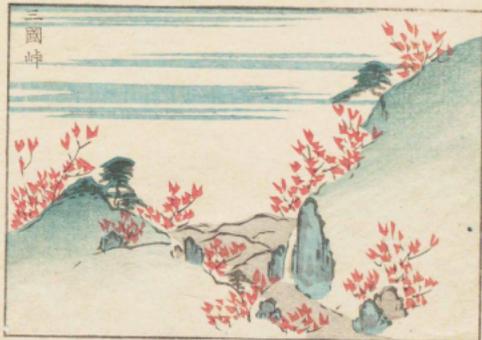
松濟

宜角









三國峠

黒田里

三國峠脚躑

春日井野  
高井村より

去るやとれ涼風く昔の山  
春雨や上水の松も又々ぬまて  
くさみやをやり信濃の跡も糸石

英齋  
村静  
雷二

松杉疎密擁峙峻會血漆成裝葉英丹嶂仰攀三國  
嶺金鱗俯指百尋城翠微送入紅霞遠幽谷家燒絳  
燭明獨訝這中逢朝暮人間愧我曳虛名

乾齋

望作一ふ本作と号呼ハ山ほくきハをこく小呼  
候より一と程のうーううひて何のうと承あけはあ  
くくくくのわくふふのうとてつしのゆひまもるさか

道直  
重甫  
補書

筆よおおくきよと照臨よつーい

英雀





鳴尾松



廣口川

くさ草あよとの松はまなふん守せぬぞう比代のたりに

月 明るころのゆと新夜よりり

わりそりり 見ふおん音のあし尾雲

あゝきま せや鳴尾の松乃うん

廣口川の鳴 社父は村

棹 音ハせふあけり廣口の川の浮鴨ころあしはる

君く代ハかきうもふぬ廣口の川はあれもむ野の影く

ま菰やくひろちち川の風きむと下紫の春ときくぬあち鴨

ちりてくまうこれハ花靴の廣口川の鴨け汐押

豆 ちハ月のけりて比の鴨

かーまーうさまく小鸭や月比豆

義住

金毛

一松

雷二

南景

正有

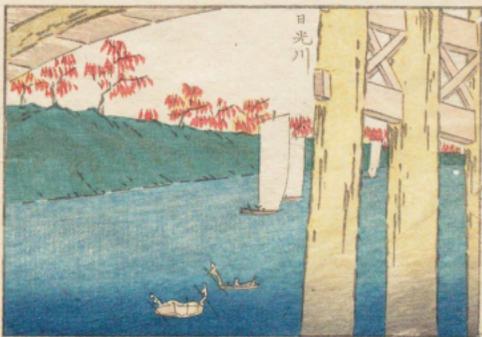
貞足

筆彦

紫風

春樂齋

妙興寺



三十一

妙興寺

妙興寺村

傳聽飛州良匠名感看門閣舊時楹由來不走尋常

惟孝

地松自育水自清

古木森宿暮禽白雲長伴寂寥心欲尋幽徑坊僧

雪村

定一磬依微落葉深

名も了一の危れとくさ(とま)の法の水流き寺

秋陰

ちまも枝もそをぬ木の葉か

醉雨

咲沙も花もひらんでち繁りれ

静喜

ひりよまうりさ一雙の杓代む

甫岳

日光川の榎

長堤三十里霜樹展丹霞布帆鷗隼白遠影没天涯

百信

穂深此地方開土多少景光初覺新紅葉經霜凝織

釋嚴南

錦白雲帶而恰飄鱗一泓徒木曾山嶺十里入蓬萊

海濱偏動吟情風水色橋頭佇立佳來人

紅葉映橋若朱塗オホノキ每秋自顯日光名

一入八川の多うりや傳つんたふうきーのりち茶

くれやすこ夕日のさうりけいひのりみちふ六一砂りりや

川ももろとさうりやあゝくく日けさうりこく橋のたうけ

すろ照く日の眼さうきや極もみち

あ節のまけてまごありこー紅葉

祐福寺 沢沼寺村

欲知千古好為歩此崔嵬玉樹十圍翠巖横登殿臺

牛遊

四十四

むねの山ともさばらぬんむまものさうきくわたり

うら

け寺の覺もまぐ若ひてまごせやるのむま川の山

寺會

大楠 銅油村

裏門へ扉のまて呼月あゝれ

永成

銅村有老樹耳食不知年匹如杖京木遠懷楠氏賢

九年

千年長球拂雲枝鯉歷戰爭南北時曾有英雄渠作

空陽

姓勤王事歌樹増滋

桶本もいさやうりてまごんさ申さきけさ里の井垣

重喬

おりのりやうりてまごりし

免衰

雲峯松 松村三利

光雲峯上龍燈松下植株法雨濃想是虫魚逃若

實忠

海朝卷一百有聲鐘

月々も影をうつてけりさうりやの夢ぬき初めはさき

意然

かりやの影をうつてけりさうりやの夢ぬき初めはさき

守胤

夜寒橋

蟹江新田庄屋  
川よりい

一「道」長橋架鞘川稀膝蒲岸碧漪澁人間三伏雖如

普巷

熱水氣猶寒半夜天

橋成安穩往來人岸腹蒲蘆碧玉均頼有聖明君在

正國

上人傳寛政富平津

雅しく春はのそきまのりてを朝霧のくせの松

信之

あえての春さの松乃川風よ涼きさきつまの夕ふれ

木阿

さのうまで涼き人のあきまの松乃川夕音

邦光



祐福寺



大楠

雲峯松



夜來橋



七ツ寺花

珊瑚殿外滿林花 富士景之二

珊瑚殿外滿林花 好倚胡床喫細茶 日落佳人浴素

紫山

影千金一刻在禪家

時余游自江戶村 及漢道別于此故也

梅未全飛櫻欲開 城南寺好樓臺一簾水 影和花

藤城

影洗却汗湯衣上埃

峻嶺崇山背指來城中 上已且銜盃池亭是處聊脩

公

袂文字心腸幸未灰

尋常菡萏亦時新 雜沓花邊酒入脣 洛有鴛鴦東蓀

全

筭又來七寺醉青春

三月香城春可誇 淡紅妖白麗 煙霞仙圍入望東風

清友

軟踏遍鈴、雪様、花

七寺、韶光、百樹、櫻、花爛、暖促、吟行、池岸、春真、風前

惟孝

雪片、飛浮、膝下、航、城南、春満、古禪、宮少、長群、遊興、不空、天女、祠邊、花鳥

水齋

樹有、逢有、速咲、東風、此池のミヅの飛れ、万代よあえつ、是もや、春のさくらりと

武子

七ッ寺、是もそね、あゝ入、おのう、ね、ちう、り、う、り、け、う、な

諸春

け、り、う、れ、け、け、の、危、の、ま、て、赤、う、つ、う、こ、も、は、さ、り、う、れ

芳雄

ほ、の、た、だ、う、ね、か、き、う、ん、が、り、ま、て、あ、ふ、ま、り、れ、を、と、と、ま、あ

賢増

け、や、も、や、ひ、つ、さ、ら、り、の、七、ッ、も、た、よ、い、す、こ、ら、う、も、れ、

正典

ど、さ、り、も、さ、ら、と、う、じ、あ、つ、さ、ら、う、い、は、難、花、も、あ、と、と、

敬一

五七五

春、暖、ま、り、け、さ、の、ま、風、や、ん、の、う、り、と、ま、も、ひ、物、う、ん

正秋

暖、や、う、ね、所、も、む、れ、て、人、の、あ、さ、ら、い、移、の、と、う、あ、う、ね、お

豊水

ち、う、れ、む、さ、う、り、七、り、の、う、り、つ、を、せ、ね、門、の、か、れ、ち、ま、に

壽彦

け、ま、ひ、赤、い、暖、け、り、七、ッ、寺、七、り、ハ、つ、く、れ、入、お、の、う、こ

七五彦

さ、う、う、持、口、ハ、入、う、り、う、つ、も、さ、六、ワ、け、せ、比、の、小、巻、上

公彦

院、院、う、て、琴、ひ、く、ね、の、を、風、よ、ま、さ、う、な、世、毎、天、の、比

長彦

尺、も、も、な、ま、く、せん、の、を、れ、う、つ、の、清、花、よ、り、ひ、ん

亞紅

花、見、こ、や、本、毎、く、よ、ま、め、う、り

黄山

う、り、む、や、あ、も、こ、わ、さ、ね、物、持、凍

一清

介、潔、キ、の、栗、や、さ、さ、う、に、つ、あ、さ、馬

其雄

ち、う、む、よ、泊、今、山、院、芭、の、相、子、介

全

七寺花



善師野驛



とこやのほもさえてくれのゐ  
 苔明  
 昔のほ 正よ せしや 了 証  
 霞暁  
 初 示や 塙よ きはつく 牙のゐ  
 芦江  
 次上て ちりあゝ 花や 人乃 中  
 露井  
 口 垂りて おもえね 示のたより 外  
 かろ  
 花ふ すり 舟の ちりあゝ ちりあゝ  
 英齋  
 突汗 ちりあゝ ちりあゝ ね 花 足 外  
 連彦  
 りハ 西に くれまゝ ちりあゝ ちりあゝ  
 龜水  
 庭 花と 足て ちりあゝ ちりあゝ 人の妻  
 楚山  
 うろく とすゝ 一りや ちりあゝ の 友  
 松背庵  
 人 主の ちりあゝ ちりあゝ ちりあゝ 夕さく



須成天王社

年々すすかりの神に祀るありきりもてりてり

一節よりいふのいふはととりのあよみさきさき

株りてに茶の代拂し彦紫くれ

足代と一枝 倍り口り茶小

寺本八幡社

白雪紅暎両壁林風先一倍入園深業祠自在瓊瑤

裡清純後無塵點使

是てり又よふかのねれ枝てにそよりびりさのゆゆ

その人れらりのをも拂りりやり口の表のねのあしハ

なり社や月ふもまよりさりり

大成

正有

列根

綺川

藍光

嘉寛

玄豊

左柳

長浦

釣舟三五出長浦唼櫓聲西又東月落半汀風未

定漁燈碇在疊波中

やふらやまらるるねらちの浦やを控かてつくくし

大浦をりまお多郡よりのたまひより大津村  
よておまらけをくしてを浦せりけり

まららあうねらあはを浦のあさくらたさくあふらあ

浦さの子うまてく神のあしりりもを浦のうけくして

うけくしてまのを浦うさりもまててをくけりけり

浦さこ吹るうけりり肌をわをこまてりを浦の候

うけくしてあむり彩もを浦のゆ干にひうまらり

る候せはまのりおけららふ辰とつりあいつり

橘巻

茂元

正明

綱煥

正実

嘉寛

文矩

種治

長浦



萩原川



かなむりあをよまへん長浦のうつろのなほまてうくりたり  
 不陸せハ沖漕みもうちみつりも長浦のまれば夕ちきさ  
 わくちき一頃とさしひて長浦のちりのひうふゆをゆへん  
 まのりれ長浦切てけちと底のろよりわのうふとスル  
 長浦やあゆのはほくのあつまていそつひてあぢぢり  
 つはりのかきもけつま折小せ長浦のまハ橋パー  
 引治や池をてりまのくれ  
 夕月や原唇とく長原くり  
 長浦の夜哨ふうくにかすきりり  
 長浦や吹至以て夕うす  
 山よりハ有つて西降すむ外

正命  
 中人  
 光澄  
 郡清  
 貞喬  
 洲屋  
 李曠  
 桃里  
 志友  
 國水  
 大年



三三三

萩原川

あけ波の舟上てりせ海原うら  
 信長の舟よさつや新乃雨  
 霞晚  
 春松

行樹風清夜平川月白時放舟孤客趣料得有鷗知  
 江流環驛曲爽氣滿涼天柳光餘秋色葭枯帶晚烟  
 助護  
 弘道  
 鷗眠紅蓼外雁落白沙前不識誰家子高歌掉釣船  
 秀樹

江のよとつよの茶屋の小ま  
 藤れをやういつくもりそんと水  
 綺川  
 柯笛

荒子藤

い〜のあ〜この河に面影のゆ〜て〜より〜石浜の赤  
 利恭

をららりれ人しもたけなほのつあつてはるる名もつゆ  
千尋子

五くりよと来てあそんまふげ風もあつこの里代あつと  
宗利

多羅やしく栞ふうけてほろとりあまのくもをたけ  
長彦

尤々の風よくわじやうちりりくれ  
市雪

定光寺 省掛村

ぬくればたけしげえてゆひのほれあそひの葉をちうき  
南景

寺の名れ早りもやて今も程こく小光ほの神火  
賢増

本魂ふもすや 誰と 杉の 葉  
思文

橋くけく石のあがりや 衣 文  
逸齋

落く葉の枝よきけりわく  
三省

名區小景二編卷之上半



四三二

三夕 定光

